

金澤北ロータリークラブ



写真：関 稔(会員)

■金沢 ■北郊 ■散策

文学の故郷碑

東山3丁目

馬場小学校出身の文豪、泉鏡花・徳田秋声・尾山篤二郎を追慕し昭和45年小学校創立百周年を記念して建てられた。金沢伝統の黒瓦、白壁の土塀に、鏡花「縷紅新草」秋声「光を追うて」篤二郎「雪客」それぞれ代表作の一部が川端康成の書で刻まれている。

界わいを歩くとき、これら文学作家の精神的遺産が脈々と残されていることに改めて気づく。

美術館と現代の社会

金沢美術工芸大学学長 乾 由明氏



今日、美術館のテーマをとり上げたのですが、これが実は金沢と関係がありまして、ご承知のように金沢市が今度新しい美術館を造るという事であります。日本全体で美術館という名の付くのがだいたい300館ぐらひはあるようです。「今、なぜ美術館か」という理由を今日のごく大きな視野からお話したいと思ひますが、だいたい2つの点があると思ひます。1つは、これは特に金沢という土地柄と密接にむすびついていることでもあります。もう1つは、現代という時代において美術館の役目というか、機能であります。

金沢には県立の大変立派な美術館がございます。美術館の性格としては、金沢の伝統的な美術工芸を中心にした美術館で、これは当然あってしかるべき美術館ですが、新しい美術館は、明治以後くらいの近代、それから特に現代ですね、今動いている現代美術を中心にした美術館にしたい、という構想のようで、大変結構であると思ひます。常識的に考えますと、金沢のように古い町というか伝統的なものが残っているところは、あんまりそういうものが不要なのではないかという考え方も一方ではあるかもしれないですね。ただわたしはやっぱり金沢が非常に伝統的な古いものがあるからこそ、むしろそれと全くある意味では異質かも知れないけれど、そういった新しい現代美術、近代、あるいは現代のものを見せるようなそういうところがむしろ必要だという風に私は思っております。文化とか美術というのは、確かに伝統っていうのが大事なんですけれど、それがそのまま、ずっと保存していいものでもないし、むしろそういうものをずっと同じものを保存ばかりしていると、だんだんと生気がなくなってきて、繰り返しになって、そして腐ってしまいます。やはり、常に伝統というのは新しい生命をそこに注いでいかなければならない、そういうものだと思います。どうも金沢というところは、古いものはあるんですけど、そういう刺激、新しいものを生み出す活力、そういうものが少し欠けているのではないか。そのためには活力を与える一つの施設がなくてはならないと思ひます。それを今度の美術館に期待しているわけであります。

私は非常に映像化した時代、あるいはシュミレーション（疑似現実）が氾濫しているような現代社会の中で、やっぱり人間同士の対話、それから人間との精神的なやりとり、そういうものがこれから必要になってくると思ひます。どんなにハイビジョンが良くても、知識あるいはイメージを受け取ることは出来るけれど、それによって精神的に感動するということは、恐らくないかと思ひます。そのためにやはり、美術というのは、ひとつの単なる色や形だけではなく、その美術によって我々が、精神的な感動を受ける、それが一番重要なことでもあります。

好天に白球を追って ＝第42回ゴルフ同好会コンペ＝

小春日和が続く、11月9日（日）今年最後のゴルフ大会が能登島ゴルフ&カントリークラブにおいて開催された。前日の8日はゴルフ参加者17名の内11名が同島祖母ヶ浦にある南RC 四十万谷氏の社会保養所をお借りし一泊した。

島名物コンバイン？3名の接待に新鮮な刺身や美味しい手料理も手伝って「飲むわ、飲むわ」お酒3升、ビール30本、ウイスキー1本を軽く飲み干し、夜遅くまで歓声を挙げた。

翌9日は、雲ひとつ無い絶好のゴルフ日和で遠望の穴水湾がキラキラ輝き、用意したセーターも暑い位。池あり谷あり、又名物のバカでかいワングリーンなどメンバーを苦しめた。

越田和好君が1アンダーで優勝。以下成績は次の通り。皆さんお疲れ様でした。

(S・Y)

			O	I	G	H	N
優	勝	越田 和好	46	48	94	23	71
2	位	大村 精二	44	49	93	19	74
3	位	駒栄 敏雄	42	47	89	15	74
4	位	蚊谷 八郎	41	45	86	14	72
5	位	高岡 昇	40	48	88	13	75
10	位	五十里英弘	50	50	100	20	80
15	位	米沢 真二	48	51	99	15	84
B	B	米澤 修一					

ドラコン 安宅、広沢
ニアピン 大村、広沢
松本、広沢
ベスグロ 安宅



第6回ベルギー派遣短期交換学生募集について

- ◇資格：出発時に大学・短大に在学中の男女学生（ロータリアンの子弟又は親戚）
 - ◇実施期間：平成10年7月26日～8月31日（予定）
 - ◇募集人員：36名（定員になり次第締切ります。富山・石川各18名予定）
 - ◇費用：航空運賃 [377,000円] ヨーロッパ5カ国バス旅行費 [145,000円]
 - ◇オリエンテーション：出発前に2回のオリエンテーションを行う予定です。
 - ◇前回の訪問国又は都市：マドリード・ローマ・フィレンツェ・ベニス・ウィーン・ベルギー各都市・ロンドン・パリなど。
 - ◇申込締切：12月20日（土）迄と致します。
- ※申請書は事務局にご用意してあります。

